

生体の保管と逸走防止について

レプタイルズフィーバーは会場あつての開催です。生体の逃亡が発生すると会場を利用できない恐れがあります。そこで、2021年から生体の保管方法を抜本的に見直し、新しいルールを設けましたので必ず遵守してください。

生体を逃がした出展者様は、ペナルティーが発生し、場合によっては即営業停止となります。

また、下記①～④のルールに対し、違反もしくは協力を拒まれる出展者様に対しては、上記同様の対応を取る場合があります。今後も継続的に開催していきけるよう、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

①生体の保管方法について

■プリンカップ、パッケージなどを使用して販売する場合

原則、容器ごとに新しいテープやホッチキスなどで留めてください。

特にへビの容器は厳重に留めてください。(容器により、4～10か所)

※**エサのコオロギ**やサソリ、ムカデ、クモなど有毒の昆虫類も厳重保管を！

いわゆる「やきそばパック」での生体展示ならびに販売は禁止とさせていただきます。

さらに搬入・営業終了後は、各容器を二重梱包してください。

容器を発泡スチロールの箱や衣装ケースなどに入れ、テープなどでしっかりと梱包（下記例）。空気穴は生体が逃げ出さない大きさに。**二重梱包した箱はすべてテーブル上に置いてください。**
※ケースの状況などから例外を認める場合もありますが、逃げ出さないよう徹底を！



■アクリルケースでの販売の場合

カギをかけてください。

カギのないものはテープなどで留め逃げ出さないように徹底してください。

■プラスチック容器での販売の場合

搬入・営業終了後は、フタなどでしっかりと覆い、逃げ出さないように徹底してください。



デグー、ラットなどの歯の強い齧歯類はプラスチック容器、観察ケースでの販売はできません。
必ずケージなどをお使いください。

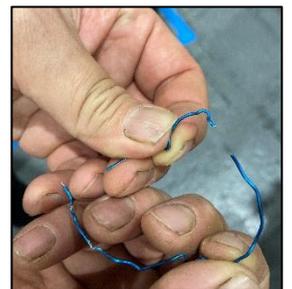
■鳥かご、ケージ、バリケンでの販売の場合（主な対象：哺乳類・鳥類など）

本体のカギ以外にもナスカン、結束バンド、南京錠などで入口を確実に施錠してください。
生体を移動させる場合は二人一組で作業するなど逃げ出さないように徹底してください。



▼細い針金が噛み切られる事案が発生しました。

丈夫な針金をお使いください。



■ケージなどに入れず、止まり木に係留した販売の場合（主な対象：鳥類など）

リーシュ、ジェス、アンクレットの状態を確認し、パーチなどの係留台に確実に繋いでください。
生体を移動させる場合は必ず二人一組で作業するなど逃げ出さないように徹底してください。

■コオロギ、デュビアなど活エサを会場内・周辺で販売容器に移すことは厳禁

事前に販売容器に入れて搬入してください。

※販売される生体のエサとして持ち込まれたコオロギ、デュビアなどの活エサの脱走も、販売生体の脱走と同等の扱いになります。

上記ケース以外でも、生体が逃げ出す恐れがあると事務局が判断した場合は事務局の指示に従ってください。

上記ケースに当てはまらないケース、ご不明な点などがある場合は、事務局までお問い合わせください。

※生体が蒸れる、窒息するなど、体調を悪化させる箱の使用は禁止です。

上記いずれかの対応を取ったことにより、生体に影響があっても、主催者は責任を負いません。

②【重要】生体保管チェックについて

搬入日にあたる2月21日（金）の搬入後と、会期日2月22日（土）の閉館後、各出展者様の生体保管状態を事務局でチェックします。

出展者様にはチェック時にお立ち合い頂きます。

活き餌・生体を販売される出展者様は、作業が終わられましたら、必ず事務局スタッフまでお声がけください。
チェックを受けずに帰られた場合、累積2回で次回・次々回のレプタイルズフィーバーにはご出展できません。

チェック時に不備などが見つかった場合、その場で是正策を取って頂きます。

出展者様がチェック時にブースにいない場合は、事務局の判断でテープを使用し容器を補強する場合があります。

※チェック時間 搬入日 2月21日（金）作業終了後～出展者退館時間

会期日 2月22日（土） 閉館後～出展者退館時間

※生体が逃げた場合の管理責任は出展者様にございますので、ご承知おきください。

③生体が逃げた場合

生体が逃げた出展者は、今後1年間（次回、次々回）
レプタイルズフィーバーに出展できません。

※「生体が逃げた」とする主催者の判断に出展者様は異議・取消を申し出ることはできません。

※逃げた状況などを主催者で協議し、上記対応を撤回する場合があります。

※生体が逃げた状況によっては、会期中であっても即刻、営業停止となる場合があります。

営業停止によって当該の出展者様が要した費用や損害について、主催者は責任を負いません。

また、出展料も返金できませんので、あらかじめご了承ください。

※屋号・ブランド名などを変更しても、主催者が当該出展者様と判断すれば出展できません。

④生体が発見されない場合

逃げた生体がレプタイルズフィーバー開場時間までに発見されず、来場者に危険が及ぶ可能性があるなど、状況によってはイベントの開催自体を中止もしくは中断する場合がございます。

中止もしくは中断によって事案を起こした出展者様及び他の出展者様が要した費用や損害について主催者は責任を負いません。

また、出展料も返金できませんので、あらかじめご了承ください。

【脱走しやすい種の例】

種	脱走理由	危険度
陸ガメ 水ガメ	パワーがあり、プラケースの蓋程度は押し上げてしまう。 各地の脱走事例多数有り。	プリンカップなどをなぎ倒してしまう。 小さい生体を捕食する可能性がある。
小型のヘビ	小さい隙間から出ていく。 弁当パックでの脱走事例が多い。	とにかく見つけにくい。 行方不明率が高い。
中型のヘビ	パワーがあり、プリンカップやプラケースの蓋を筋肉の収縮で開けてしまう。	比較的発見が容易ではあるが、専門家や愛好家で無い限り、発見時において大騒ぎになることが予想される。
哺乳類	歯が強く、ケースに穴をあけてしまう。結束バンドを噛み切る。力が強く周りのケースを倒してしまう。	齧歯類の場合、電線をかじる可能性がある為、漏電の危険性がある。生体によっては他店の生体に害を及ぼす場合あり。
虫	小さいため、隙間から出ていく。	特に有毒種の場合、必ず発見しなければならない。場合によっては、全館駆虫を実施する必要がある。

※ブースを離れる前の二重チェックと二重梱包で脱走を防ぎましょう

【過去の脱走例】



パック内のヘビが逃亡
原因：留めていたテープがゆるい
二重梱包していない

二重梱包していたヘビが逃亡

原因：フード用のパックで、留めていたテープもはがれやすかった
二重梱包の段ボールは真ん中をテープで留めただけ。両サイドは隙間が開いていた。

